BEAUTIFIL I

販売名·一般的名称

販売名	一般的名称 承認·認証·届出番号		
ビューティフィル II LS	歯科充填用コンポジットレジン	管理医療機器 医療機器認証番号 226AFBZX00138000	

包装・価格



ビューティフィルⅡ シェードガイド

12色1組

※ビューティフィル II LS はビューティフィル II と 同じ色調です。

ビューティフィル II LS

4.0g(2.0mL)

【色調】12色

■ユニバーサルシェードライン

あらゆる部位における単層充填用

A1	A2	A3	A3.5	A4	B2	В3	C3

■オペークシェードライン

■エナメルシェードライン ■特殊色

透明度が必要な充填用



BW:ブリーチングホワイト ホワイトニング処置後の充填に

関連製品

※印刷のため実際の色調とは異なる場合があります。



ビューティフィル フロー F02 F10

2g×3本入* (FO2 A2、A3のみ)



ビューティフィル フロー プラス F00 F03

2.2g×3本入* (A2、A3のみ) 【色調】 F00 11色、 F03 12色

※3本入は箱なしの簡易包装です。



歯科用 LED 光照射器



ビューティボンド マルチ

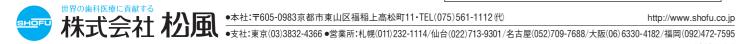
セット ダブルパック



ペンブライト



で使用の際は添付文書などをよく読んでお使いください。

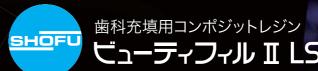


コンポジットレジン用ダイヤモンドポリッシャー

コンポマスター(CA)

【形態】4種

3本…(No.28のみ4本入)

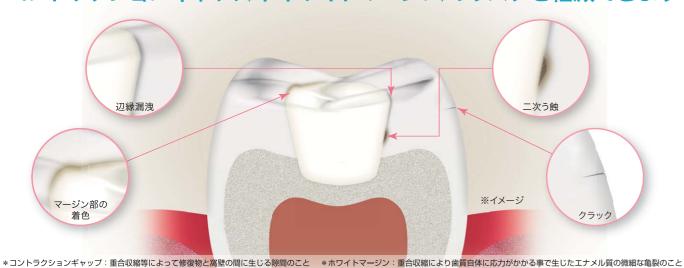








コントラクションギャップ。やホワイトマージン。のリスクを軽減できます



三井化学(株)と共同開発した 新規低重合収縮性モノマー 「ML-01」を配合すること により低重合収縮率と低重

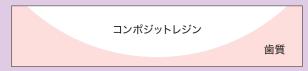




新規低重合収縮モノマー「ML-01」により低重合収縮率と低重合収縮応力を実現しました

比較試験①

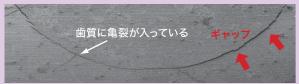
窩洞形成・ボンディング処理後にコンポジットレジンを充填し、光照射。 充填箇所を歯軸方向に切断し、接着界面を電子顕微鏡にて観察。



ビューティフィル II LS接着界面



重合収縮応力が大きい試作コンポジットレジン

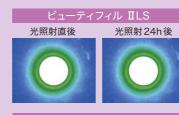


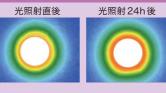
コンポジットレジンの重合収縮が大きいと、接着界面 のギャップや歯質の亀裂が生じる原因となります。

アクリル板を丸く切り抜き、ボンディング処理した後、コンポジットレジン を充填。上部より光照射し、コンポジットレジン硬化時の重合収縮応力に より発生したアクリル板のひずみを 位相差測定装置※により測定した。

応力を受けてひずんだアクリル板に光を照射すると複屈折を起こす「光弾性」 を利用してひずみの分布を可視化する装置



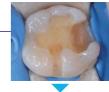




コンポジットレジンの重合収縮が大きいと、充填し た周囲に生じるひずみも大きくなります。

審美性

ビューティフィルシリーズ共通である 天然歯類似の光透過特性と透明性を有しており、 自然感あふれる色調再現が可能です。



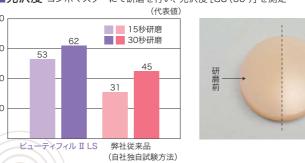
研磨性

研磨性に優れており、短時間の研磨でも よく光ります。また、摩耗しても艶やかな 表面性状を維持します。



A3色を充填

■光沢度 コンポマスターにて研磨を行い、光沢度 [GS (60°)] を測定



良好な操作性

適度なコシ感を有するペースト性状のため、窩洞への充填性に優れます。 また、形態が崩れにくく、解剖学的形態の付与が容易です。

耐摩耗性

CRの自己摩耗、対合歯の摩耗が共に少なくバランスの とれた咬合摩耗特性を有しています。

BEAUTIFIL II

衝突回転摩耗試験: CR硬化物 vs エナメル質



(白社独白試験方法)



S-PRGフィラーから 6 種類のイオンリリース

S-PRGフィラーって?

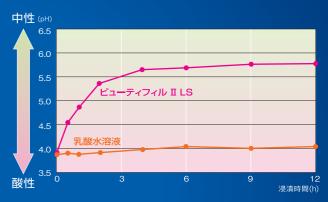
ビューティフィル I LSには、松風が独自に開発した バイオアクティブなフィラー "S-PRGフィラー" が含まれています。 6種類のイオンリリースにより以下の特長を有します。



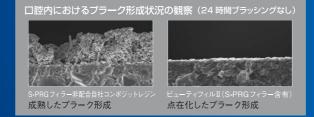
酸中和能の発現

S-PRGフィラーの働きにより、周囲環境を酸性領域から 中性領域に移行させます。

ビューティフィル Ⅱ LSの硬化体を乳酸水溶液(pH=4.0)に 浸漬したときのpHの変化 (自社独自試験方法)



(抗プラーク付着性(学会報告) 日本歯科保存学会にて下記内容が報告されています。



S-PRGフィラー配合コンポジットレジンの表面はだ液と接触することによって、 マテリアルフィルム層ができ、これがコンポジットレジン表面への細菌の付着お よび増殖を抑制し、成熟したプラークを形成しにくくすると報告されています。 また、この層はブラッシング等により脱離するものの、再度だ液との接触によっ て形成され、持続的にプラークの成熟化を抑制するといわれています。

(参考: 朝日大学 歯学部歯科保存学分野/第117から123回日本歯科保存学会報告)